

① 研究課題名：前立腺導管癌及び小細胞癌の放射線治療に関する調査研究

② 研究の目的：

前立腺導管癌及び小細胞癌に対する放射線治療の治療成績および有害事象を解析し、実態を調査する。

③ 研究期間：2019年 11月 ～ 2021年 12月 31日

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：浜松医科大学医学部附属病院 放射線治療科 教授 中村和正

研究実施施設：日本放射線腫瘍学研究機構（JROSG）の会員が属する施設で、研究参加を表明した施設

群馬大学、鹿児島大学、聖隷三方原病院、東京女子医大、北里大学、日本大学、岐阜大学、浜松医科大学、川崎医科大学、天理よろづ相談所病院、NTT 東日本関東病院、順天堂大学、大阪大学、山形大学、琉球大学、北海道大学、京都大学、岩手医科大学、九州大学、国立がん研究センター東病院、兵庫県立粒子線医療センター、KKR 札幌医療センター、大阪府立急性期・総合医療センター、弘前大学、メディポリス国際陽子線治療センター、長崎大学、筑波大学、名古屋市立西部医療センター

⑤ 研究の対象：

病理学的に前立腺導管癌及び小細胞癌と診断され、名古屋市立西部医療センター陽子線治療科において、2013年2月1日から2018年12月31日までに陽子線治療を受けられた方

⑥ 調査項目：

a) 背景情報：年齢、全身状態、TNM 分類（進行度の指標）、併存疾患、病理組織診断、PSA（前立腺特異抗原）またはそのほかの腫瘍マーカー（NSE 等）

b) 放射線治療の内容：放射線治療の開始日、照射方法（線種等）、処方総線量、分割回数、併用療法の種類、併用療法併用の時期（照射前・同時・照射後）

c) 放射線治療後の経過（2020年3月31日までの経過）：

受診・検査日、再発した場合の形式と治療内容、転帰、有害事象

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、研究事務局(群馬大学医学部附属病院 放射線科 準教授 河村英将)へ提供され、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

日本放射線腫瘍学会学術集会などで公表することを予定しています。また、この研究は、公開データベース（UMIN）に登録していますので、研究の内容や進捗状況、結果等についてウェブより確認することが可能です。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出を

された場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ データの二次利用について

この研究のために集めたデータを、将来の別の研究に利用される場合があります。これを「データの二次利用」といいます。その場合には、新たに名古屋市立臨床研究審査委員会において、科学性及び倫理性の審査が行われ、承認をされた後に実施されます。

⑪ 利益相反

本研究は、日本放射線腫瘍学研究機構（JROSG）より研究資金を得て、実施されます。この研究に係る利益相反はありません。

⑫ 問い合わせ先

	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	陽子線治療科	岩田 宏満 TEL：052-991-8121（代表）